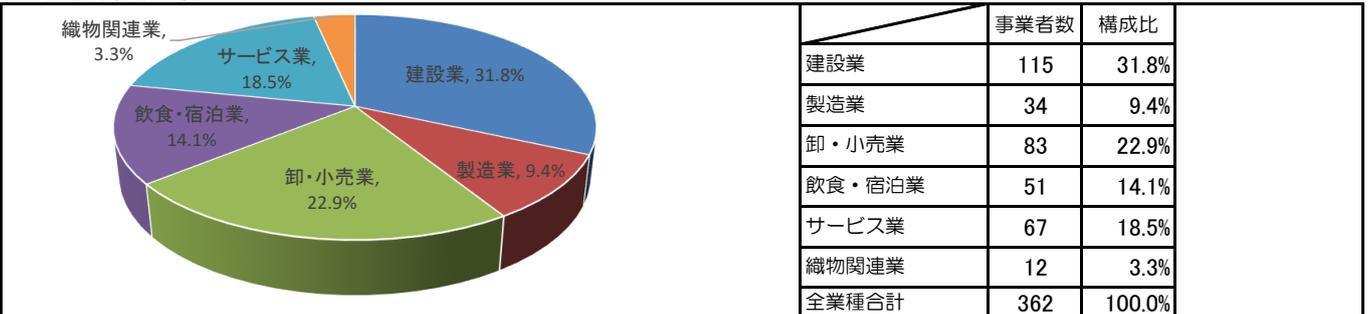


十日町市地域 企業景況調査 第1四半期報告書 (R6.4.1~R6.6.30) 会議所地区

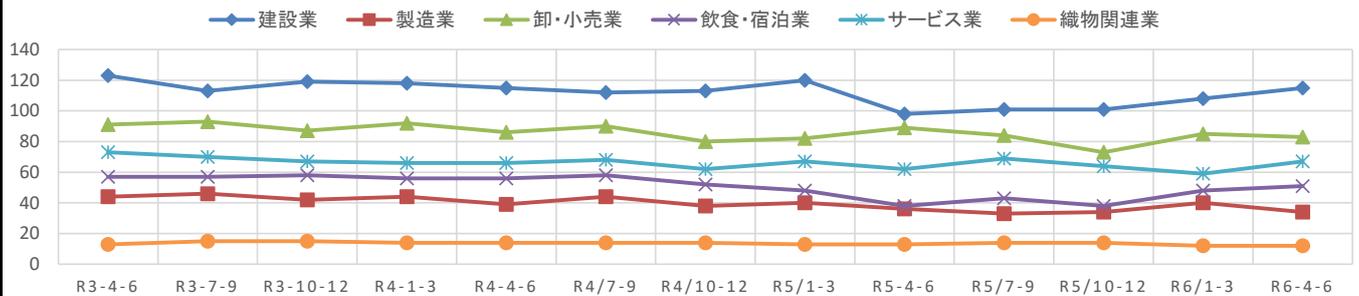
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>

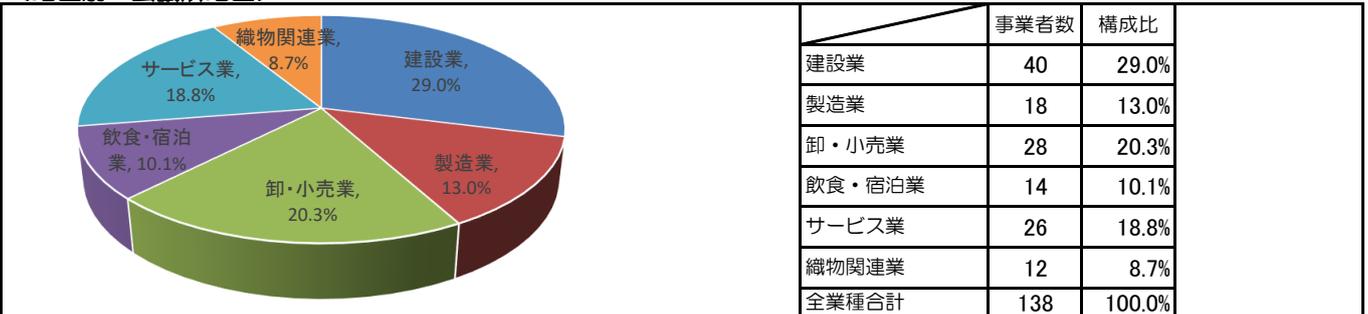


業種別調査事業所数の推移(市内全体)

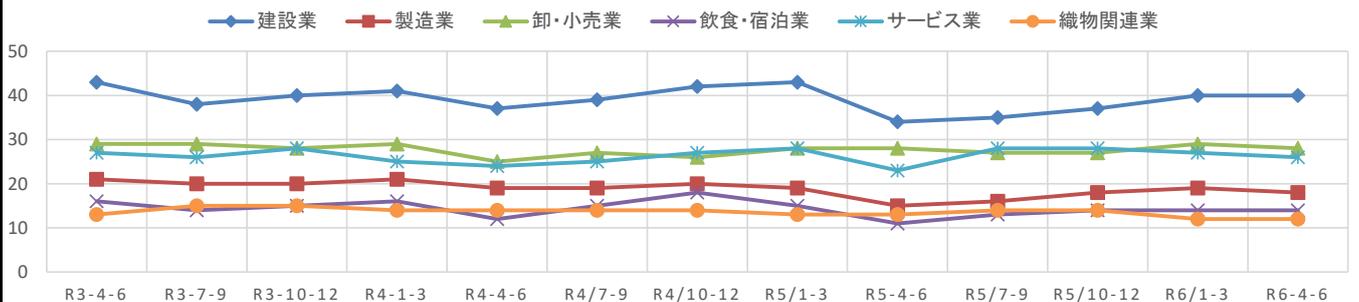


<コメント> 今回の調査は十日町市内362事業所から回答を得られた。前回よりも10事業者増加した。業種別に見ると、建設業、飲食・宿泊業、サービス業の回答数が増加した。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



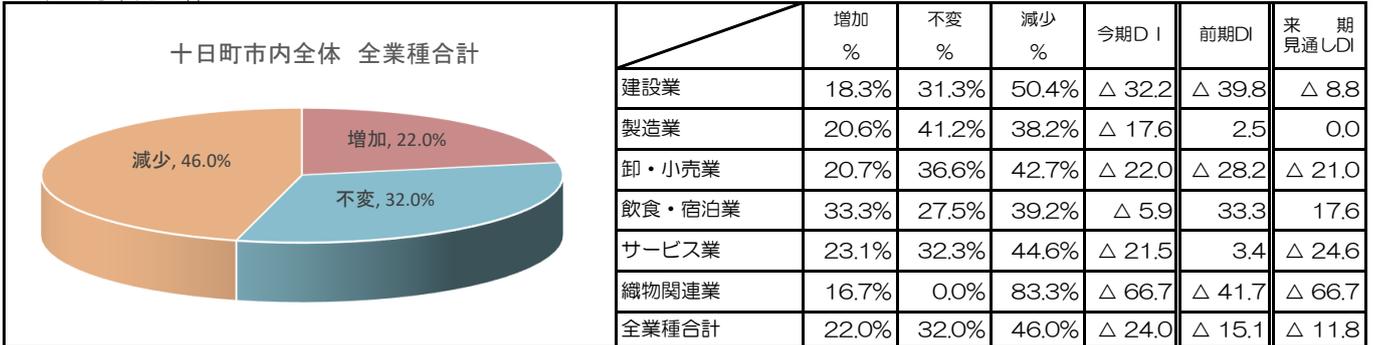
<コメント> 会議所地区の今回の調査回答状況は、依頼先188事業所のうち138事業所からの回答があり、回収率は73.4%と前回に比べ3.6%減少した(前回:回答事業所141事業所、回収率77.0%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

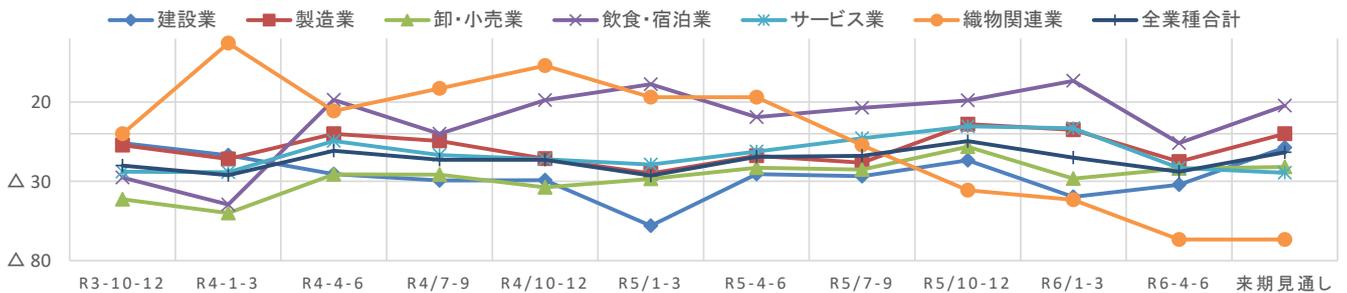
1. 売上について

- ・4月～6月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

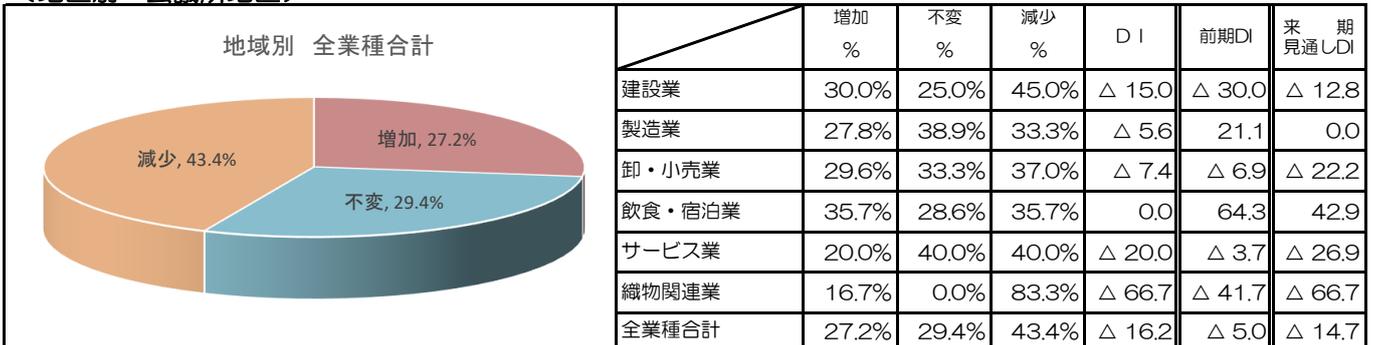


業種別売上の推移(市内全体)

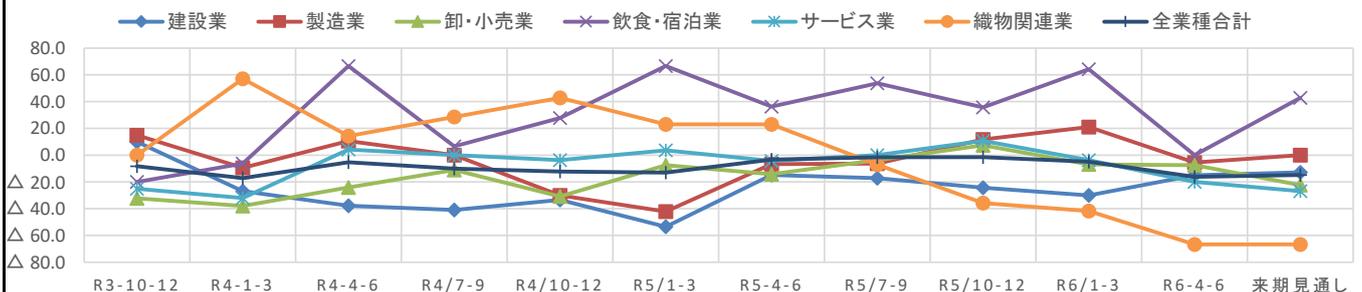


<コメント>十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△24.0ポイントで、前回調査時よりも8.9ポイント減少した。飲食・宿泊業及びサービス業で大幅な減少となっている。来期については、特に建設業及び飲食・宿泊業において大幅な増加が見込まれる。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移(地区別)

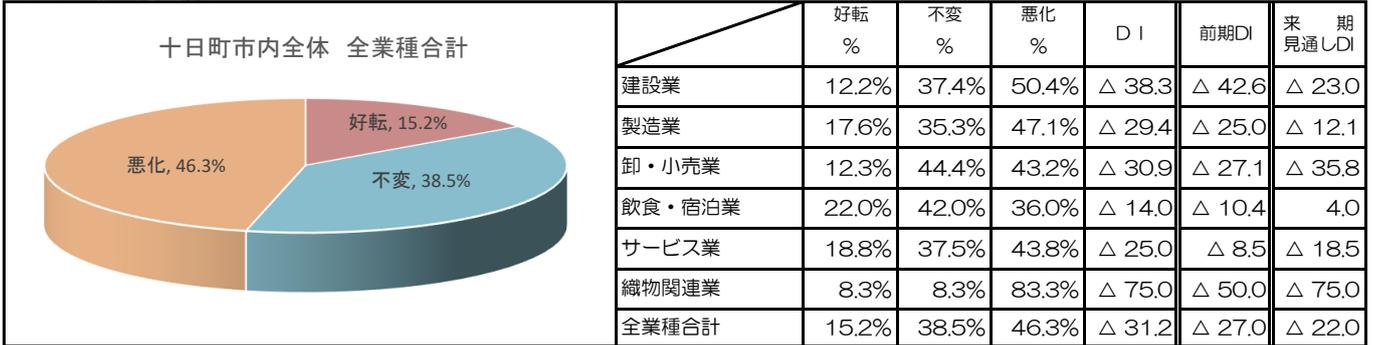


<コメント>会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△16.2ポイントで、前回調査時よりも11.2ポイント減少した。業種別に見ると、建設業のみ増加し、その他の業種は減少した。中でも飲食・宿泊業は大幅な減少となった。来期見通しでは、織物関連業は横ばい、卸・小売業とサービス業で減少しているが、その他の業種では増加の見通し、全業種DI値においても増加の見通しである。

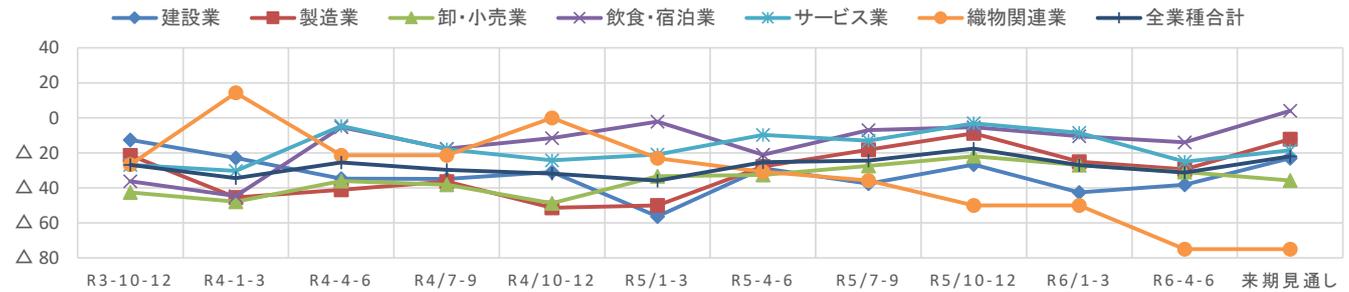
2. 採算について

- ・4月～6月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

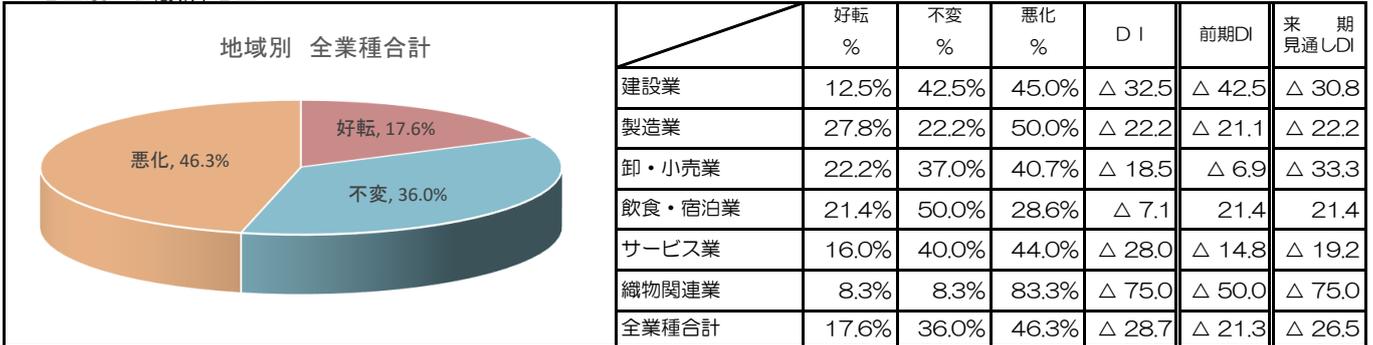


業種別採算の推移(市内全体)

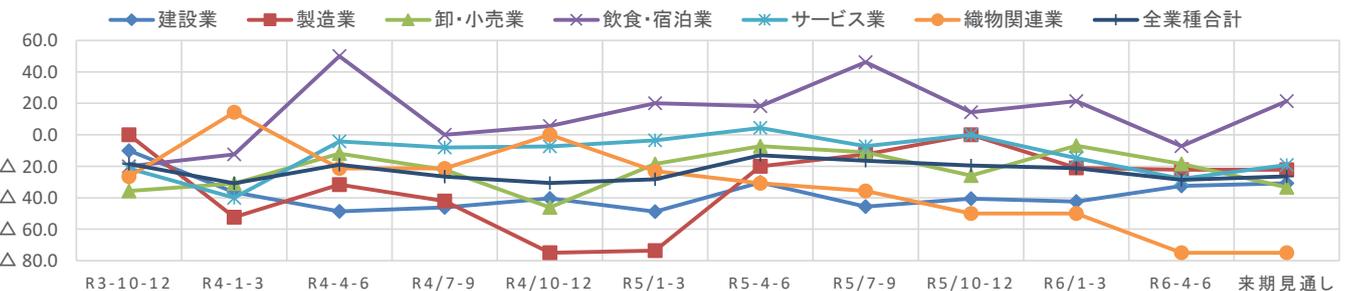


<コメント>十日町市内の今期の採算状況は、全業種DI値で△31.2ポイントで、前回調査時よりも4.2ポイント減少した。業種別に見ると、建設業のみDI値が好転している。来期の見通しについては、卸・小売業以外の業種で好転の見通しである。

<地区別：会議所地区>



業種別採算の推移(地区別)

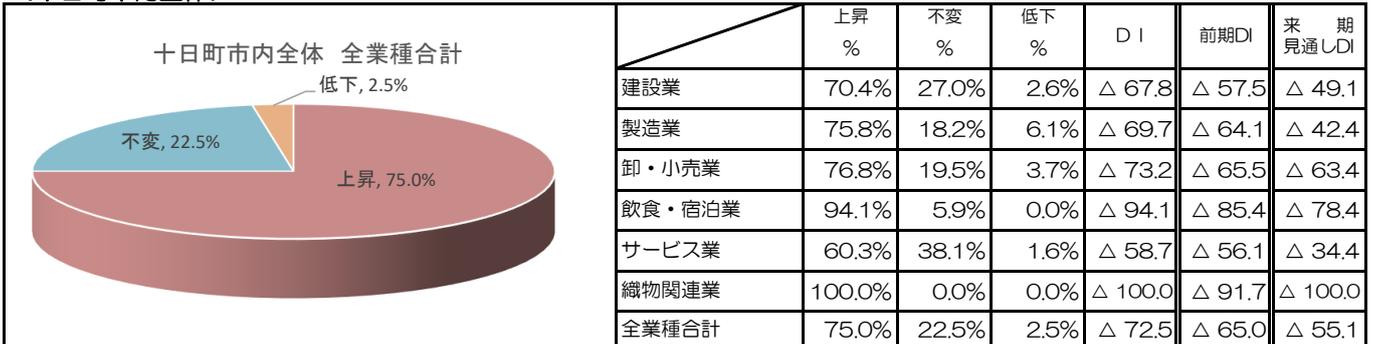


<コメント>会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△28.7ポイントで、前回調査時よりも7.4ポイント悪化している。業種別に見ると、建設業のみ好転したが、その他の業種は悪化した。来期見通しでは、卸・小売業が悪化予測、製造業と織物関連業は横ばい予測となっているが、その他は好転予測で、全業種DI値においても好転の見通しとなっている。

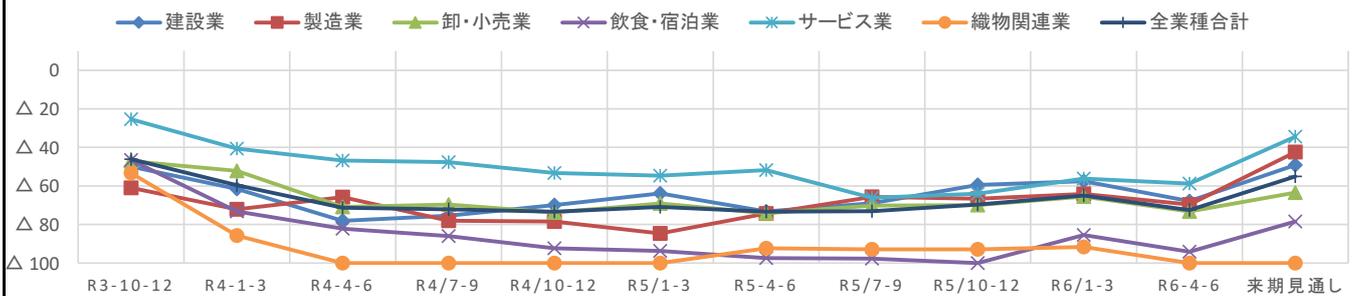
3. 仕入単価について

- ・4月～6月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

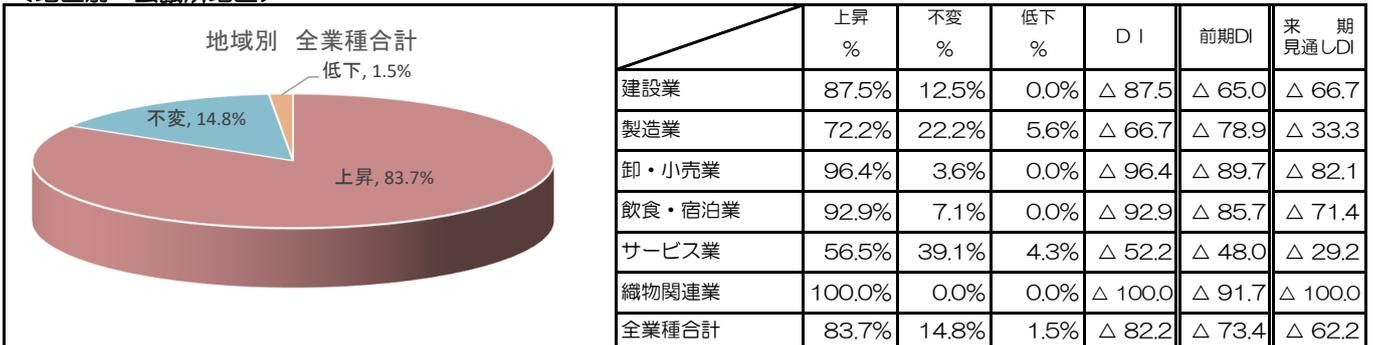


業種別仕入単価の推移(市内全体)

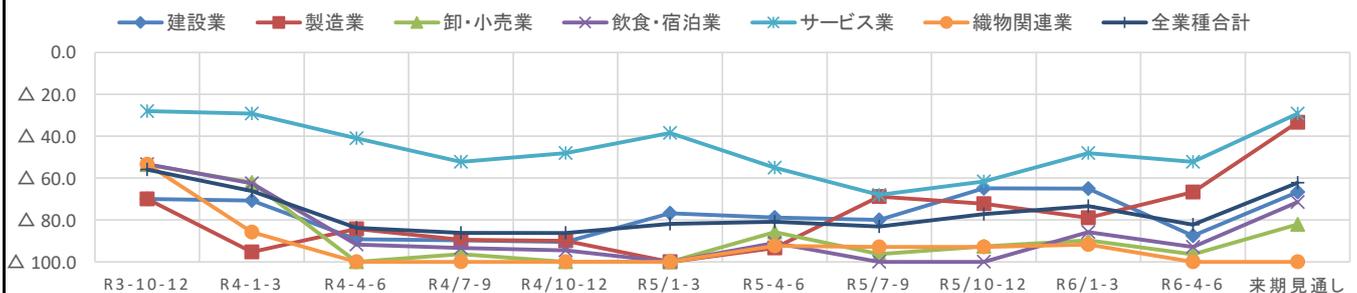


<コメント>十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△72.5ポイントで、前回調査時よりも7.5ポイントの仕入単価上昇となった。来期見通しは、織物関連業を除いた業種で今期よりも仕入単価が減少する見込みである。

<地区別：会議所地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)

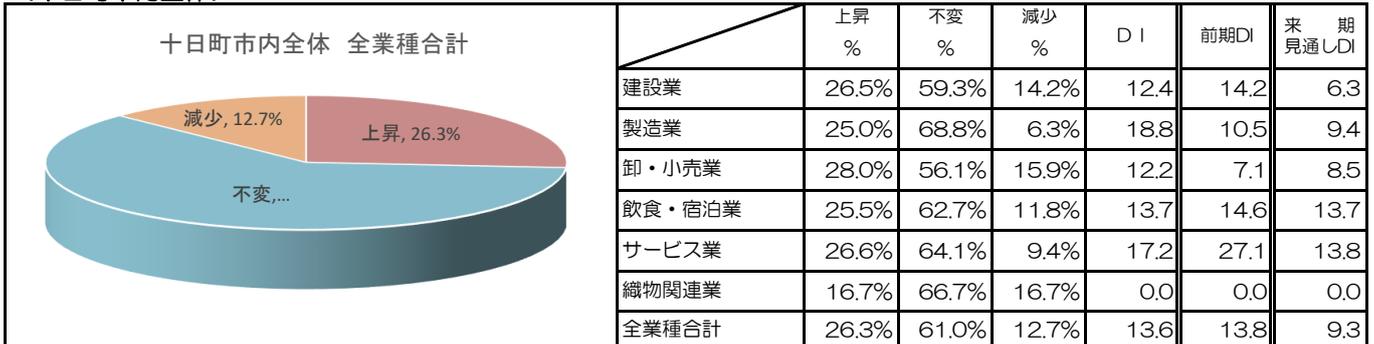


<コメント>会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△82.2ポイントで、前回調査時より8.8ポイント仕入単価上昇となった。業種別にみると製造業のみ仕入単価低下となったが、その他の業種は仕入単価上昇となり、織物関連業においては全てが上昇回答となった。来期見通しでは織物関連業が横ばい、その他の全業種が仕入単価低下の予測となっている。

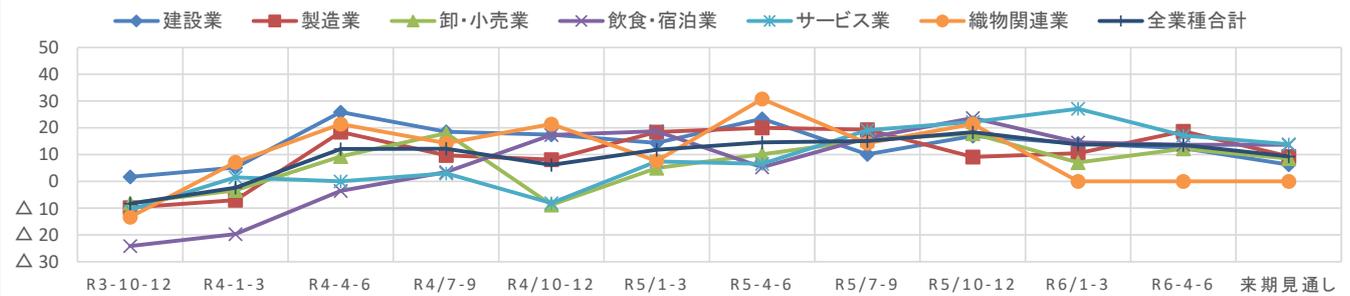
4. 販売（客）単価について

- ・4月～6月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

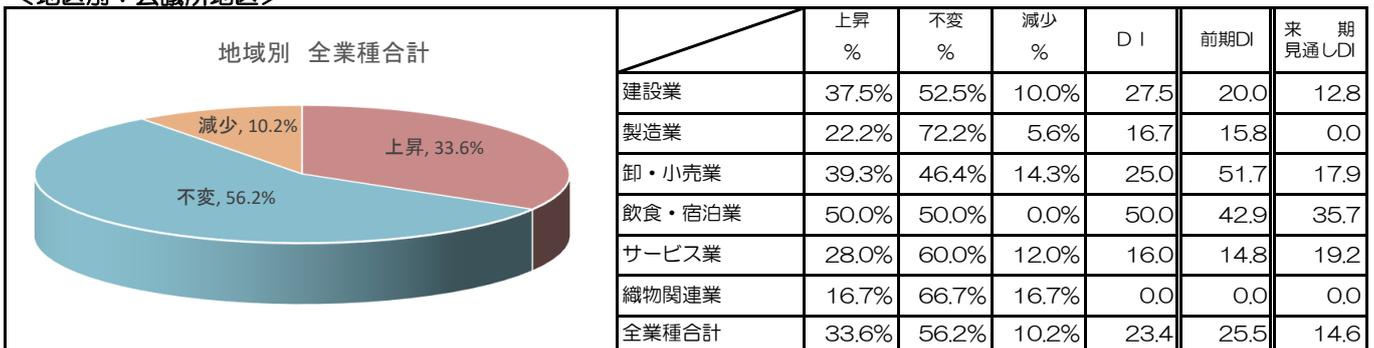


業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

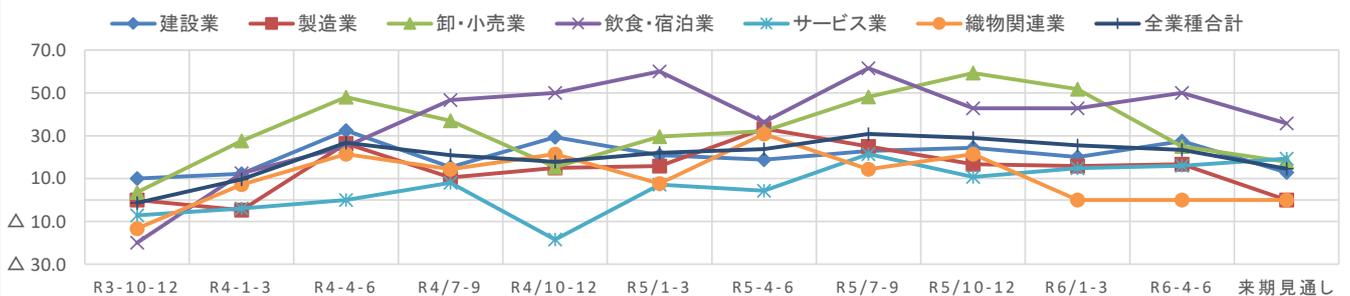


<コメント>十日町市内全体の今期の販売（客）単価の状況は、全業種DI値で13.6ポイントで、前回調査時よりも0.2ポイント減少した。製造業と卸・小売業で上昇した。来期の見通しについては飲食・宿泊業では横ばい、それ以外の業種では減少する見込みである。

<地区別：会議所地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）

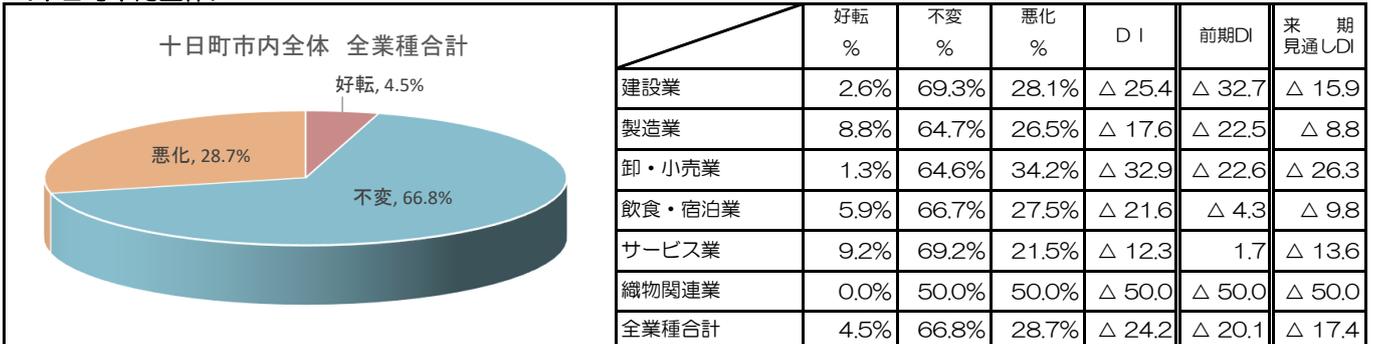


<コメント>会議所地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値が23.4ポイントで、前回調査時よりも2.1ポイント低下している。業種別に見ると、卸・小売業は低下、織物関連業は横ばい、その他の業種は上昇となっている。来期見通しでは織物関連業が横ばいの予測、サービス業が上昇予測、その他の業種は低下の見通しとなっており、全業種DI値においても低下する見通しである。

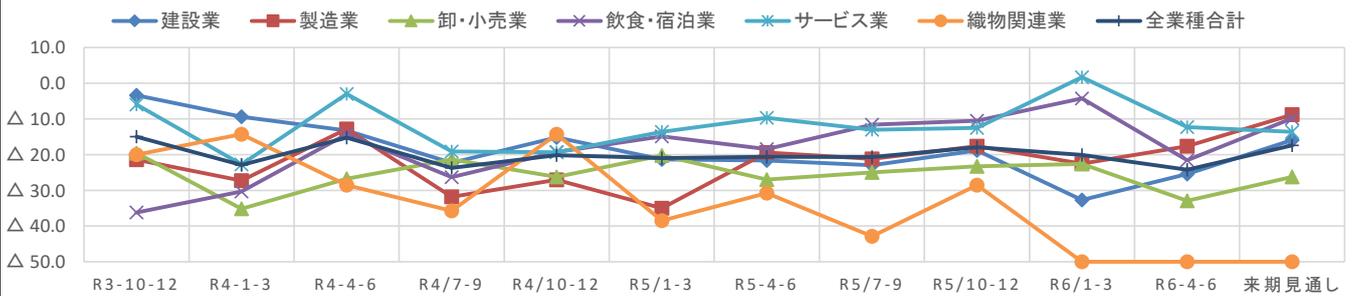
5. 資金繰りについて

- ・4月～6月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

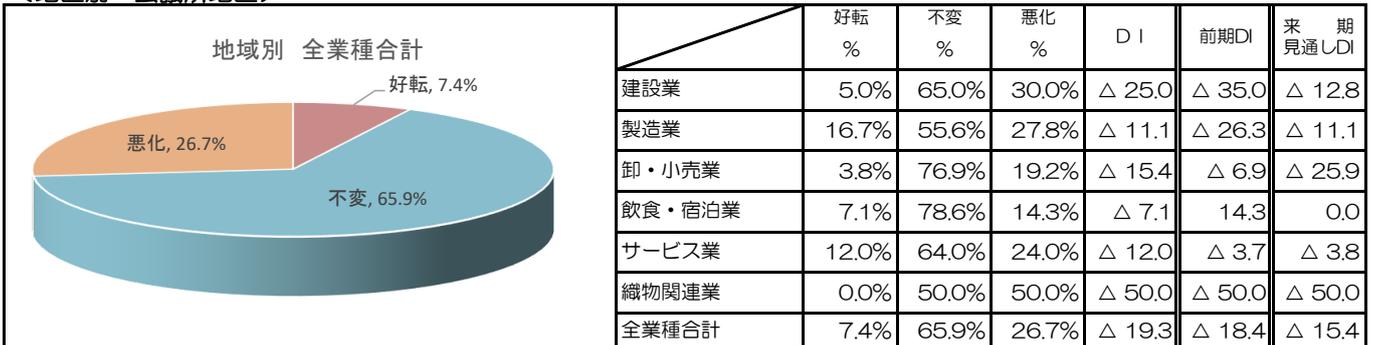


業種別資金繰りの推移(市内全体)

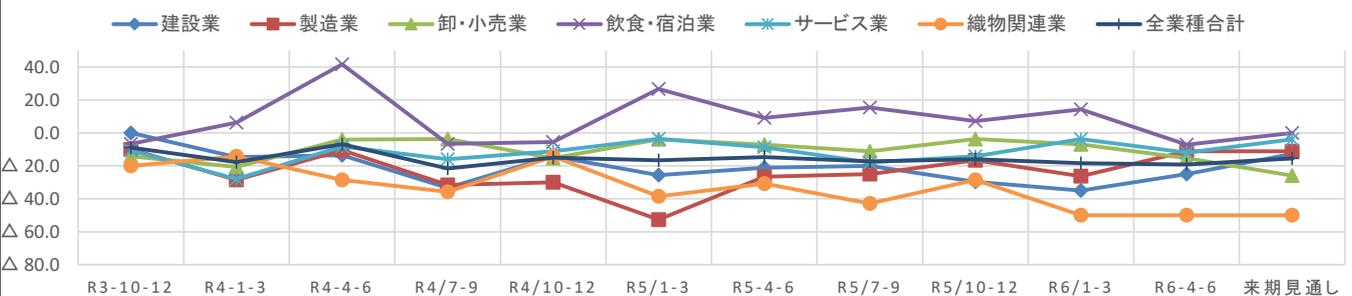


<コメント>十日町市内全体の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△24.2ポイントで、前回調査時よりも4.1ポイント減少した。業種別に見ると、卸・小売業、飲食・宿泊業、サービス業で悪化となった。来期の見通しについては、サービス業以外で好転の見通しとなる。

<地区別：会議所地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)

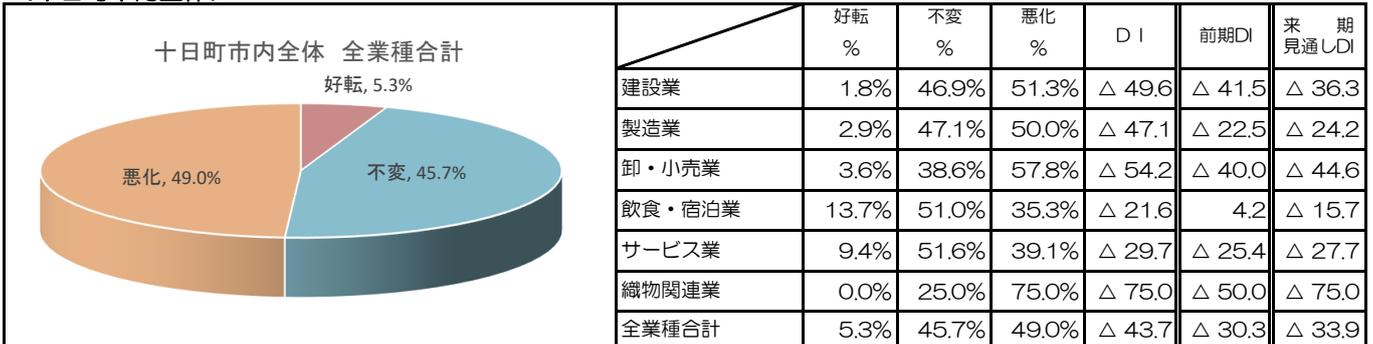


<コメント>会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△19.3ポイントで、前回調査時よりも0.9ポイント悪化している。業種別に見ると、織物関連業が横ばい、建設業と製造業が好転しているが、その他の業種は悪化となった。来期見通しでは卸・小売業が悪化予測、製造業と織物関連業が横ばいの予測、その他の業種は好転の見通しとなっており、全業種DI値においても好転の見通しである。

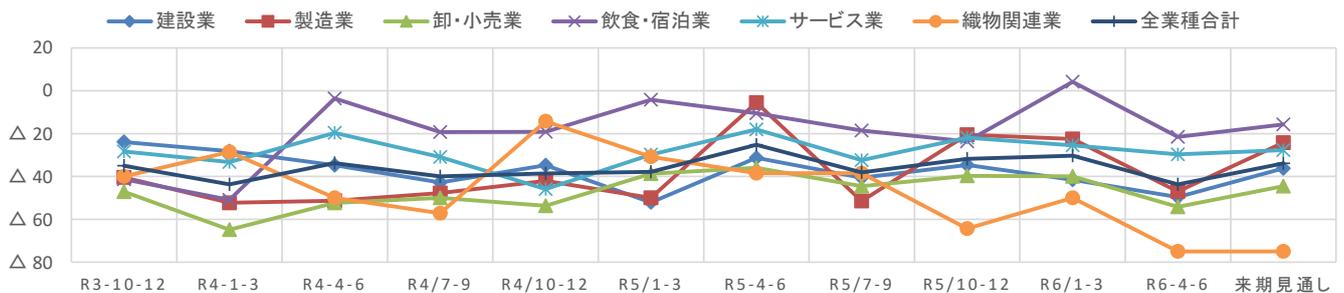
6. 景況判断について

・4月～6月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

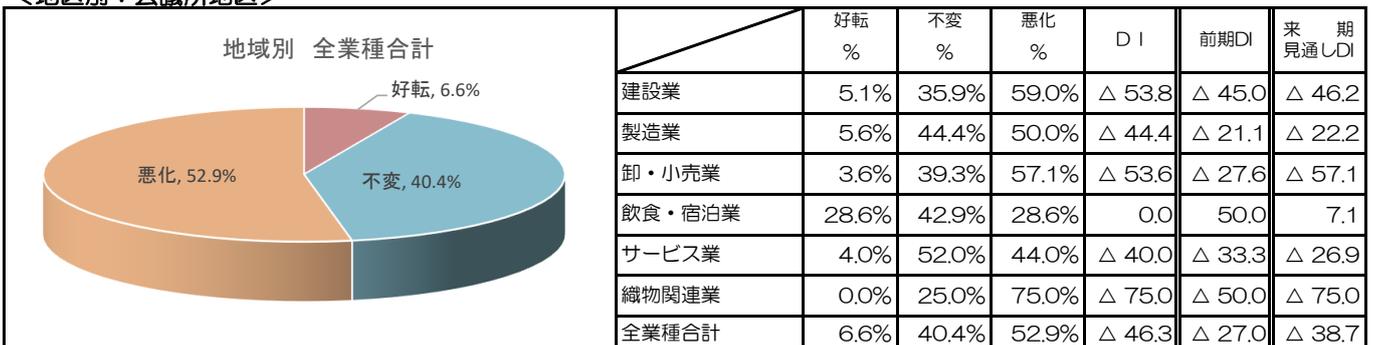


業種別景況判断の推移(市内全体)

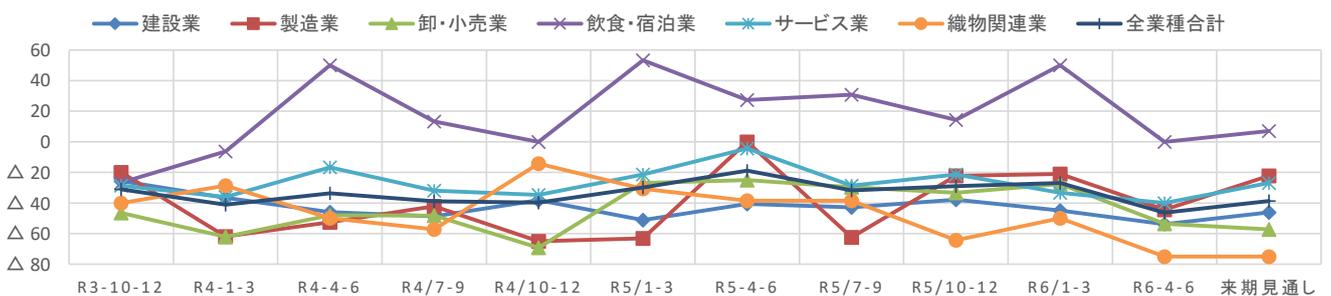


<コメント>十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△43.7ポイントで、前回調査時よりも13.4ポイント減少している。全業種で悪化となった。来期見通しは、全業種で好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しである。

<地区別：会議所地区>



業種別景況判断の推移(地区別)

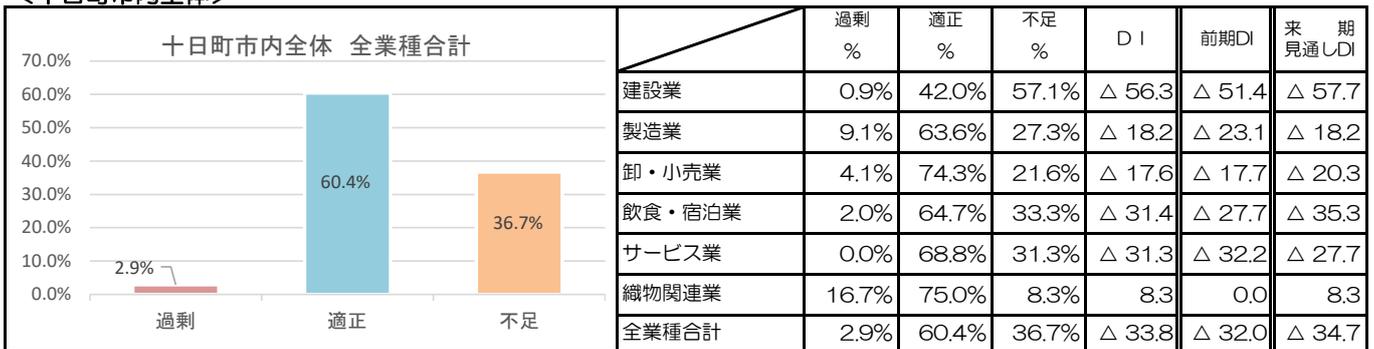


<コメント>会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△46.3ポイントで、前回調査時よりも19.3ポイント悪化している。業種別に見ても、すべての業種が悪化している。来期見通しでは卸・小売業は悪化予測、織物関連業が横ばいの予測、その他の業種は好転の見通しとなっており、全業種DI値においても好転の見通しである。

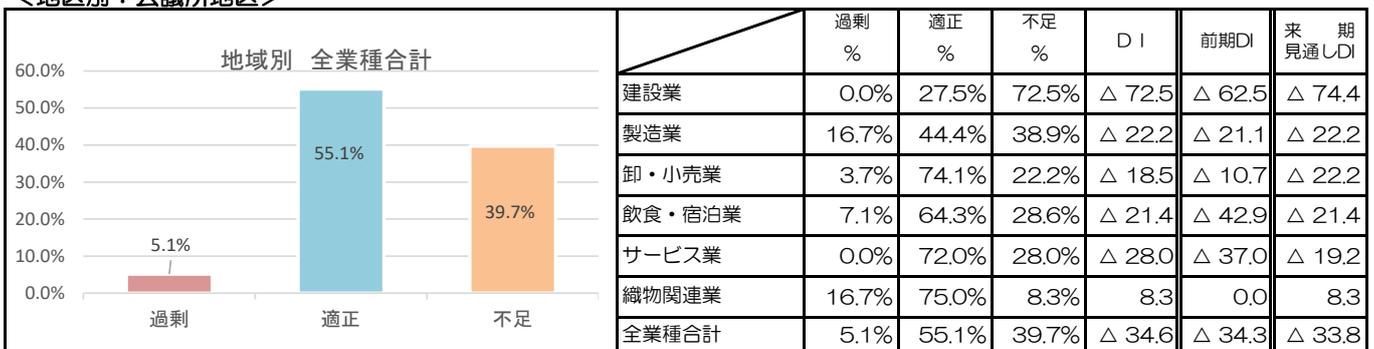
7. 従業員数について

- ・4月～6月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



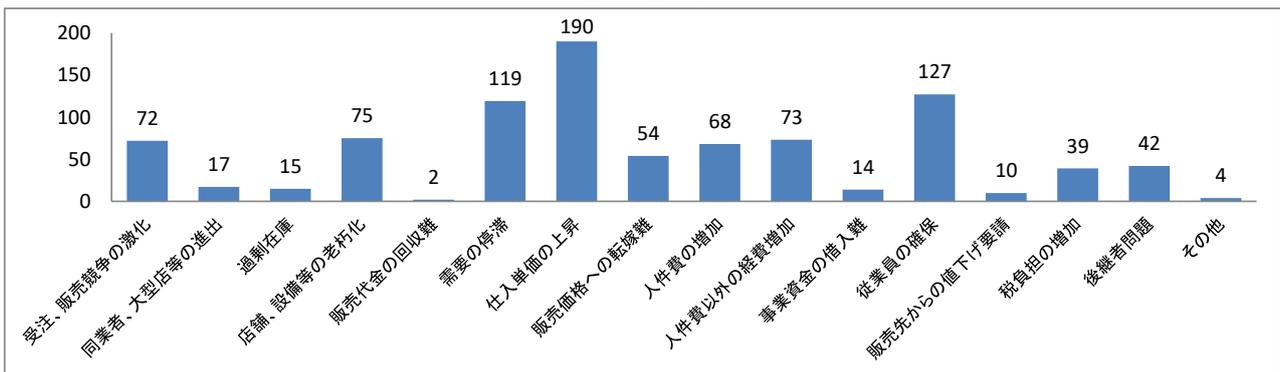
<地区別：会議所地区>



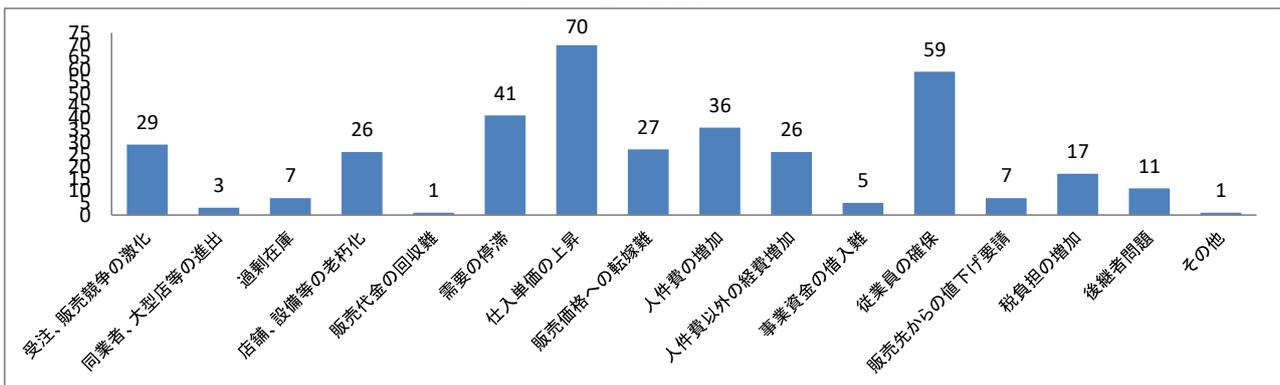
<コメント>今期の従業員数(雇用動向)は、前回調査時より過剰回答が0.3%増加、適正回答が2.4%減少、不足回答は2.1%増加であった。会議所地区の状況は、全業種合計では適正回答が一番多いものの、建設業においては72.5%が不足と回答し、依然として人手不足が続いている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）：4月～6月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>今回調査での経営上の問題点は、1位「仕入単価の上昇」、2位「従業員の確保」、3位「需要の停滞」となり、前回調査と比較して順位の変動はあるものの、上位の3項目に変化はなかった。会議所地区の経営上の問題も市内全体と同様で、1位「仕入単価の上昇」、2位「従業員の確保」、3位「需要の停滞」となった。

9. 地区の景況概要

・4月～6月時点での全体概況は

【建設業】

今期の建設業の状況は、仕入単価と景況判断、従業員数が悪化しており、そのほかの項目は好転となった。来期見通しにおいては、販売(客)単価が低下の予測、従業員数がさらに不足の見通しだが、その他は好転予測。経営上の問題点は、「従業員の確保」と「仕入単価の上昇」が多く回答されている。

【製造業】

今期の製造業の状況は、資金繰りと仕入単価、販売(客)単価は好転しているが、その他の項目は悪化となった。来期見通しにおいては、採算、資金繰り、従業員数は横ばい予測。仕入単価が引き続き低下予測となっているが、販売(客)単価も低下の見通しとなっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「受注、販売競争の激化」が多く回答されている。

【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は全ての項目において悪化となった。中でも、仕入単価については、ほとんどの回答が上昇となっている。来期見通しにおいては、仕入単価は低下の見通しだが、その他の項目は引き続き悪化予測となっている。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「従業員の確保」の順に多く回答されている。

【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、販売(客)単価と従業員数を除く全ての項目が悪化した。仕入単価については、ほとんどの回答が上昇となった。来期見通しにおいては、販売(客)単価は低下の見通しだが、その他の項目はほぼ好転の見通しとなった。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「店舗、設備等の老朽化」の順に多く回答されている。

【サービス業】

今期のサービス業の状況は、販売(客)単価と従業員数は好転となり、その他は悪化した。来期見通しにおいては売上除いて全ての項目で好転の見通しとなった。経営上の問題点は、「販売価格への転嫁難」「仕入単価の上昇」の順に多く回答されている。

【織物関連業】

今期の織物関連業の状況は、販売(客)単価と資金繰りは横ばい、従業員数はわずかに過剰となり、その他の項目は悪化した。来期においては、全ての項目で横ばいの見通しである。経営上の問題点は、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」が多く回答されている。